



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和7年10月9日 第11号 文責 梶原 圭一



自ら学びに向かう子どもたちの育成を目指して！

本校では、自らの学びを実感し、自ら学びへと向かうことができる児童の育成を目指し、互いの授業を公開しながら学び合う教職員の研修を進めています。9月24日(水)に、4年生算数「あまりのあるわり算」の授業が行われ、全職員で授業の在り方を学ぶ機会がありました。子どもたちは、あまりのあるわり算の基本的な計算を土台としながら、文章問題のポイントとなる言葉に着目して意見を出し合い、学びを深めていることが分かりました。当日は講師の先生をお迎えし、本校の授業づくりの進め方について、様々な視点からアドバイスをいただきました。今後も子どもたちが「分かった」「できた」という充実感や達成感を味わいながら、自ら学びに向かう力を高めていける授業の在り方を求めて、職員が力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。



オープンスクール ありがとうございました



9月19日(金)にオープンスクールを行いました。多くの保護者の方々に来校いただき、子どもたちの学習の様子を見ていただきました。1年生は道徳、2年生は算数、3年生は国語、4年生は学級活動(性教育)、5年生は算数、6年生は総合的な学習の時間(平和学習)を行いました。どの学年の子どもたちも、集中して学習に取り組んでいました。1年生の道徳では、教材「はしのうえのおおかみ」を使って「親切、思いやり」の心について考える授業でしたが、おおかみの気持ちの変化をしっかり考えることができていたようです。

相手の気持ちを考えて行動できる

4年生は、総合的な学習の時間で「人との出会いに学ぶ」をテーマに、調べ学習や体験学習などを進めています。その中で福祉体験学習を通して、自分の周りには様々な立場の人たちの思いに気づき、考え、自ら行動できる力を身に付ける取組を行っています。この体験学習の中で、地域の主任児童委員や民生委員の方、朝から子どもたちの登校を見守っていただいている方々、そして社会福祉協議会の方をお迎えし、指導していただきました。この学習の中で大切なことは、いかに相手の立場に立って考え、自分の言動を考え、共に生きる素晴らしさを体感することだと考えます。今後も、多くの人との出会いに学びながら、更に思いやりの心を育てていってほしいです。



地域の方への感謝の気持ちをもって



5年生が、総合的な学習の時間を使って「命を支える食」というテーマで米作りに挑戦しています。ご自身の田んぼを子どもたちの学習のために提供していただき、指導もしていただいている地域の方をお迎えし、米作りの流れや工夫及び苦労などを話していただきました。天候による水の管理や様々な害虫の駆除、草刈りなどの苦労についても話がありましたが、「おいしいと言って食べてもらえることが一番うれしい」という話が印象に残りました。菊陽の水田が、熊本県の自然を守る重要な役割を果たしていることを知った子どもたちは、自分たちのふるさとを誇りに感じたことでしょう。